

# 木犀会と教育学部連絡機用議会の報告

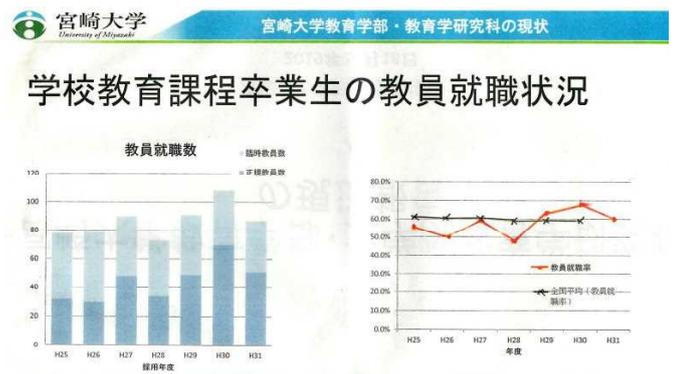
10月18日（金）、18：00～、ホテルニューウェルシティ宮崎で標記の会を行いました。参加者は、木犀会本部から橋口玄郎会長以下7名、教育学部から藤井良宜学部長以下13名でした。木犀会からの参加が学部の半分で恐縮しました。写真を中心に御報告します。

【 橋口会長のあいさつ 】

【 藤井学部長のあいさつ 】



【 藤井学部長の学部状況の説明 】



## 教育学部および教育学研究科の宮崎県教員採用試験での占有率



## 今年の4年生の途中経過

教員採用試験受験者	87
1次合格者	76
最終合格者 (R1.10.17確定のもののみ)	44

## 学生の活躍状況(1)

- ・谷口夢結(小中一貫教育コース中生免保体科)
- ・AO入試第1号
- ・2019カヌースプリントU23海外派遣選手最終選考会 1位(200m)
- ・U23世界選手権(ルーマニア・ピテシュティ)の日本代表 予選8位
- ・第74回国民体育大会(成人の部) 5位(200m, 400m)



宮崎大学のオリジナル焼酎「薫陶」をいただきました。1万円以上の起用育基金の寄付で贈られます。市販はされていません。



【 幸教育学研究科長の説明 】



【 出席者の自己紹介：中村佳文副学部長 】



## I 宮崎大学大学院教育学研究科の再編

本学大学院教育学研究科(教職大学院)が目指す教員の資質・能力像

- ◆ 学校教育・教員養成に関する現代の課題をふまえて、「それぞれの得意分野を活かし合い、補い合い連携して問題解決にあたる教員の養成機能を有する大学院」として再編する。
- ◆ 本学大学院教育学研究科(教職大学院)は、下図のような教員養成を目指す。

宮崎大学大学院教育学研究科(教職大学院)が目指す教員の資質・能力像

個として経歴力、探求実践力、生徒指導力を関連させ、  
チームとして力を融合・連携する資質・能力を持った教員



本学大学院教育学研究科(教職大学院)の再編の方向性

- ◆ 本学教育学研究科は、教職大学院への一本化を目指す。
- ◆ 「教職実践高度化コース」を標準コースとして中核に据え、「教科領域指導力高度化コース」と「特別支援教育コース」を本学の強みとして特出しする構造をもつ「教職実践開発専攻(教職大学院)」に再編する。
- ◆ 修士課程の教育臨床心理専修特別支援教育分野は、特別支援教育コースとして教職大学院に移行する。
- ◆ 修士課程の教育臨床心理専修教育心理学分野担当教員は、生徒指導・教育相談や教授・学習法に関する研究者教員であることから、教職大学院の教育・研究の教員として配置する。
- ◆ 修士課程の日本語支援教育専修の人材養成機能は、全学に移行する。

教職実践開発専攻(教職大学院)のコースイメージ

### 《教職実践高度化コース》

- ◆ 学校教育と教員の在り方、教育課程の編成・実施、教科等の実践的な指導方法、生徒指導・教育相談、学校経営、学級経営の全領域に係る高度の専門性とチームとしての実践力(コーディネート力)の育成を目指す。
- ◆ 今日の学校教育を担う教員に求められる資質能力を育成する標準コースであり、基本的に学部新卒生は本コースでさらなる力量形成を図る。

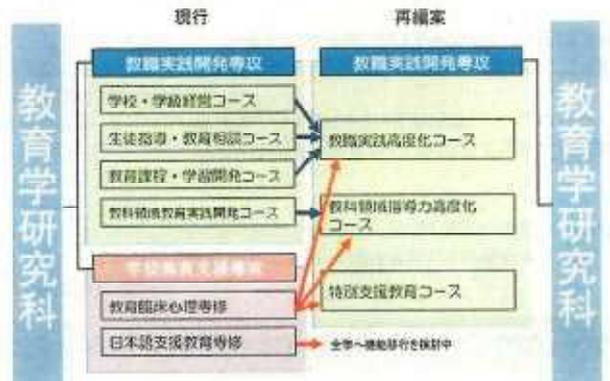
### 《教科領域指導力高度化コース》

- ◆ 児童・生徒に豊かな学力を身につけさせるための教科の特質を踏まえた高度な授業力の育成を目指す。
- ◆ 本コースでの学びの成果を宮崎県に還元するだけでなく、教科の高度な授業力育成を推進する先進的なモデルとしての役割を果たす。

### 《特別支援教育コース》

- ◆ 特別支援教育を必要とする児童・生徒に対する教育実践力、地域の学校の特別支援教育の充実に貢献するコンサルテーション力やコーディネート力の育成を目指す。
- ◆ 特別支援学校教諭専修免許状の取得が可能。

## 宮崎大学大学院教育学研究科再編(教職大学院の充実)の全体像



【 懇親会 】

乾杯…添田佳伸統括長





【 閉会の言葉：平原博子副会長 】



【 石川千佳子副学部長 】

【 新学生支援担当係長：富岡裕介さん 】



学部の先生方と直接お話しする機会はなかなか持てません。今回は木犀会の理事が諸要件があり、出席者が少なく残念でした。教育学研究科（教職大学院）が「学校教育・教員養成の得意分野を生かし、連携して問題解決にあたる教員の要請機能を有する大学院」として再編され、県教委と学校と連携して、現場に即して教員養成にあたられるということを感じました。